令和元年 9月定例府議会 》 代表質問

主な質問項目

- 働き方改革
- いのち、暮らしの安全
- 教育、健康福祉施策
- 大阪の発展、にぎわいづくり
- IR誘致
- 災害対策 など

～豊かで安心、発展する大阪の実現へ 自民党府議団は真摯に取り組んでいきます～

いのち、暮らしの安全を守る

高齢運転者の事故防止

》高齢者運転免許自主返納サポート制度の現状は

“高齢者の移動の足の確保”など、免許を返納した方々に寄り添った対応を

Q. しかた議員 》

大阪府交通対策協議会は運転免許証を自主返納された65歳以上の高齢者に対し、様々な特典を受けることができる「高齢者運転免許自主返納サポート制度」を創設しているが、自主返納後の高齢者の移動手段を確保する特典サービスを付与するなど、返納しやすい環境づくりが必要だ。現状はどうか。

A. 都市整備部長 》

「高齢者運転免許自主返納サポート制度」では現在、722事業者、2,112店舗のサポート企業に商品購入や飲食代の割引などの協力を得ており、このうち、高齢者の移動手段となる公共交通機関については、タクシー事業者9社から運賃割引の特典サービスの提供をいただいています。

あおり運転対策

》対策と周知を問う

悪質・危険な運転に対する厳正な対処が望まれている

Q. しかた議員 》

現在、政府等において「あおり運転」の厳罰化についても検討されていると承知しているが、大阪府警は「あおり運転」等の悪質・危険な運転に対してどのように対処し、また、防止するために、府民にはどのように周知しているのか。

A. 警察本部長 》

悪質・危険な運転が関係する事案を認知した場合には、殺人罪、危険運転致死傷罪等、法令を駆使しての厳正な捜査を徹底しており、防止のために積極的な交通指導の取り締まりを行っています。「あおり運転」は犯罪であることや危険な運転者に追われるなどした場合には安全な場所に車を止めて110番通報をすること等を広報チラシやホームページに掲載し周知を図っています。

児童生徒の安全確保

》登下校時における児童生徒の安全確保と見守り体制への取り組み

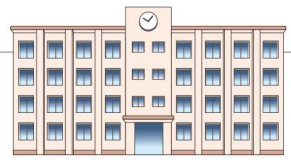
Q. しかた議員 》

登下校時における子どもの安全確保について、府としてはどのような取り組みをしているのか。

A. 危機管理監 》

これまで子どもの安全、地域防犯活動の強化を図るため、活動拠点の地域安全センターに対して子どもの見守りや青色防犯パトロール活動などへの支援を行ってきました。今年度は、青色防犯パトロール車にドライブレコーダー設置の市町村に対して、補助を行い、一層の地域防犯力の向上を図っています。

教育、健康福祉施策



幼児教育無償化

》10月から幼児教育・保育の無償化

人材と保育の質の確保は喫緊の課題!

Q. しかた議員 》

幼稚園、保育所等において人材確保が困難な状況は慢性化しており、無償化による需要喚起で人材不足に拍車がかかることが予想される。一人当たりの負担も大きくなることから保育の質の低下も懸念されるが、幼児教育・保育無償化が始まった今、人材や保育の質をどう確保していくのか。

A. 福祉部長 》

地域限定保育士試験や潜在保育士の現場復帰を促す保育士・保育所支援センター事業を実施するなど保育人材の確保と、各施設に対する指導監督はもとより、事故防止をテーマとした研修や経験豊富な保育士による巡回支援指導など、保育の質の確保に努めています。

新大学構想案

》森之宮キャンパスに先端的研究を行う分野を集約すべき

Q. しかた議員 》

森之宮キャンパスは都心キャンパスという立地を活かして、民間企業等との連携による先端的な研究や共同開発を進めていく上で適した場所と考える。基幹教育ではなく、スマートシティの取り組みや民間との連携による先端的な研究を行う分野をもってくるべきではないか。

A. 府民文化部長 》

新大学は行政や民間などの様々な機関と密接に連携し、都市シンクタンク機能等を発揮していく考えであり、森之宮キャンパスには関係機関との連携を行うプラットフォーム機能を担う体制を整備。法人としては森之宮キャンパスを起点として中百舌鳥などの各キャンパスと機動的に連携しながら、スマートシティの実現をはじめ、新技術の創出などに貢献していく方針です。